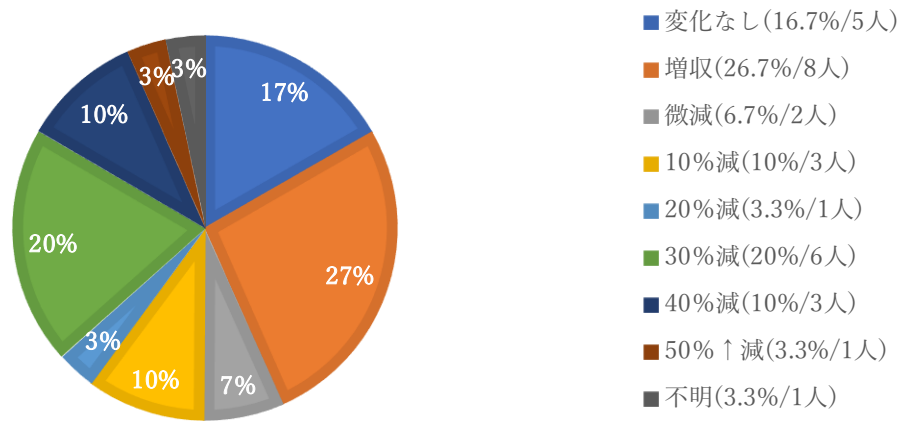


三重県鍼灸師会 会員アンケート（新型コロナウイルス流行の経済的影響について）

実施期間：令和3年3月21日～4月5日 有効回答：30名

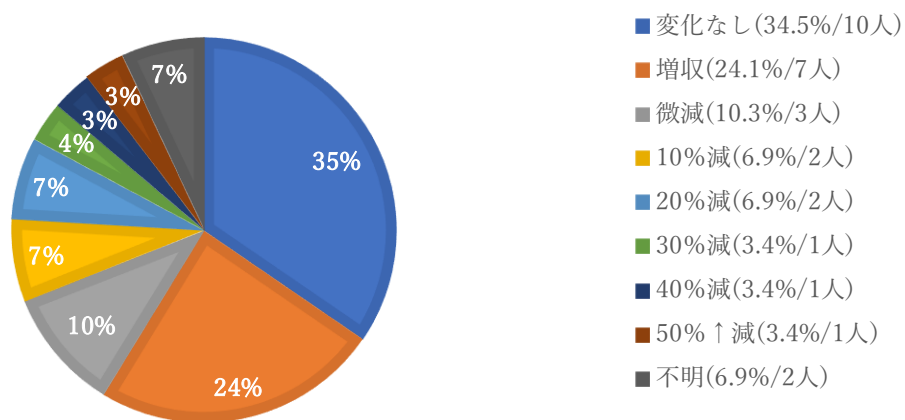
■令和2年1月～12月の売上について教えてください（令和1年比）※30件の回答

令和2年1月～12月売上



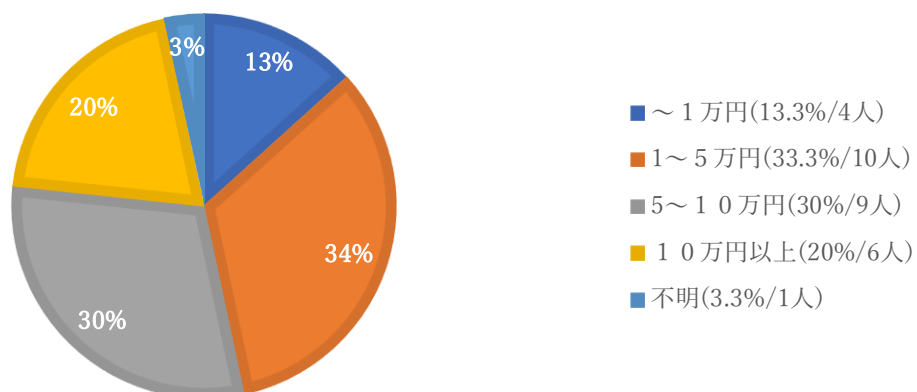
■令和3年1月～3月の売上について教えてください（令和1年比）※29件の回答

令和3年1～3月売上



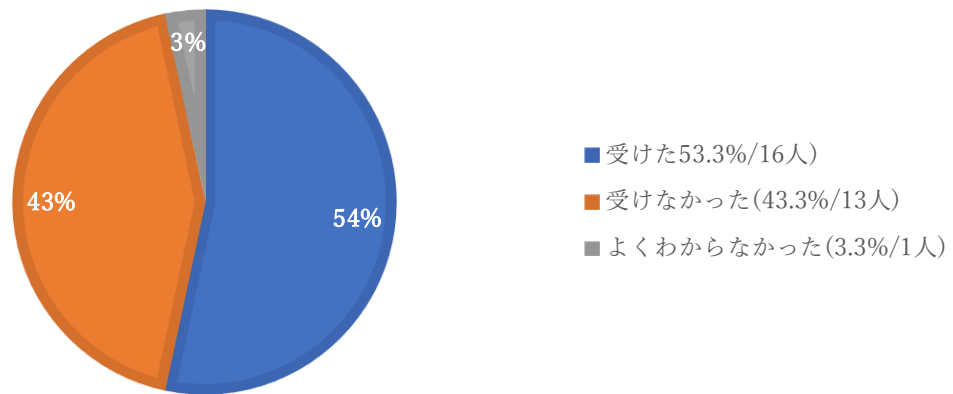
■令和2年の感染症対策で増えた経費はどれくらいですか？※30件の回答

感染症対策経費



■各種支援金・補助金の助成は受けましたか？ ※30件の回答

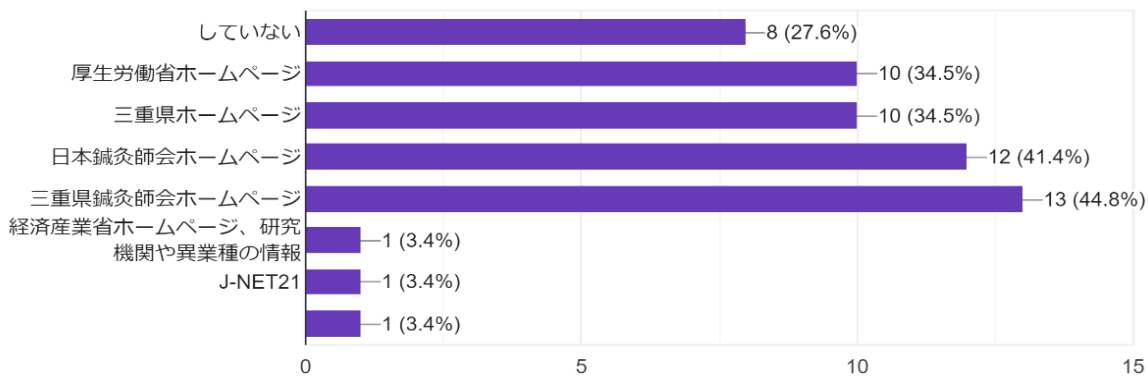
支援金・補助金の助成



■支援金・補助金を受けた方は、どのような助成を受けましたか？ ※15件の回答

- 持続化給付金（国・県）×14名
- 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援金・新型コロナウイルス感染対策助成金
- 感染対策助成金・感染防止対策支援金
- 三重県経営支援新型コロナ危機対応補助金(感染防止対策型)
- 三重県衛生給付金・三重県感染防止対策型補助金
- 伊勢市小規模企業者応援給付金・伊勢市の給付金・玉城町給付金

厚生労働省・三重県・日本鍼灸師会・本会のホームページはチェックしていますか？
29件の回答



その他ご意見、感想などあればご記入ください ※3件の回答

- これまで通りに感染対策を続け、災害への備えも十分にしていきます。
- 昨年の中頃よりは、感染に対する危機感が麻痺しつつあるように感じます。変異型ウイルスも広がり懸念されています。我々も患者さん側も気を引き締め直す時期にきていると思います。
- 前回のアンケートには意義が見えたが、今回のアンケートには見られない。興味本位？ まとめた結果を見せてもらっても、なにかが得られるとは思えない。増収の人が多く、だから何？減収の人が多く、だから何？ 会員の収入が減っていたら、何かをしてくれるのですか？ アンケートの結果を見て、どのように「会の運営に反映」していくのかを、フィードバックしてもらおう際に示していただきたく思います。

ご協力ありがとうございました。

[アンケート総括]

2回目のアンケート調査に30名の会員から回答をいただき、ありがとうございました。

今回の新型コロナウイルスに関するアンケート調査(6個の設問)は、昨年の第1回実施時(6月16日~25日)とは状況が違い、また、設問もちがいますが、その他多くの情報を織り交ぜて簡潔にまとめてみました。

■令和2年1月~12月の売上について(令和1年比)

年収の推移や区切る数値(%)によって違いますが、20%減で区切った場合、64%は大きな減収ではなかったと思われま。ただしこの数字は、実費・療養費・あはき・柔整含む等で区別したものではありません。参考までに正確な数字が出せる療養費(R2年4月~3年3月)では、前年度比での年収については本会は6.7%減、三重県鍼灸マ師会は5.2%減で、例年の推移の範囲内で変化なしです。これは総会の収支計算書で判断できます。

また、鍼灸柔整新聞などの調査にもありますが、国が発出した緊急事態宣言の地域や、都道府県独自の緊急宣言下の人口に対する感染者数の違いもあり、地域差があります。なお、緊急事態宣言の地域の会員は約50%減少(宣言期間中)ということでした。

昨年、社会鍼灸学研究会が実施したアンケート調査では、全都道府県1161名から回答があり、減少していた収入は6月から一転して回復の兆しがあり、経営面が持ち直してきたと9月に報告しています。報告の中で、鍼灸院が感染源になることに対して9割が不安をと回答し、また、6割が予防的治療を行っていると回答しています。

■令和3年1月~3月の売上について(令和1年比)

新型コロナウイルス感染症が確認された2年前の1月~3月期(感染初期)と今年の同3か月の比較では、前項と同じ数値(20%減)で区切った場合の対象は83%で、療養費に実費施術を含めると微減の範囲内と思われま。

年会費については5月19日までに全員から納入していただき、日鍼会年会費の納入猶予申請者もありません。

■感染症対策で増えた経費について

感染対策マニュアルによる必要不可欠のものでは消毒液・マスクなどのほかに、空調機器(空気清浄機や換気扇含む)、鍼灸針・モグサの備蓄からクリーニング代など様々なものがあります。回答者の76%が経費増と認識していま。

■ホームページ等のチェックについて

調査結果から、公的機関や所属業界団体のホームページのチェックなどの情報収集の少なさが目立ちま。

緊急事態や非常時には国・県の公的情報をベースにし、不確かなものの配信は慎むというのが基本です。

本会は調査項目にしなかったのですが、他師会のアンケートでは、情報収集については「テレビ等のニュース」が最も多く、緊急時の情報としては俯瞰的とは言えず、また、トリミングされたものが多く、正しい判断ができないものと思われま。

連日マスコミに登場する専門家とは、別視点のデータを駆使して説明する方々の考え方も知識として必要でしょう。

以前から会報等で伝えてきましたが、情報リテラシー能力を持っていないと患者や周囲の人々まで影響させてしまいまから、十分な注意が必要です。

アンケート調査はその使い方が分からないとただのデータです。俯瞰的な視点から考察するには、複眼をもって状況を見る眼をもち、一方的な情報に不安を訴える多くの方々(患者を含めて)に対して、解りやすい説明と冷静な対応を呼び掛けることも医療人としての大切な役目と思いま。

ご意見・感想のところで、「感染に対する危機感の麻痺を感じる」というご意見がありましたので、多くの参考例の中から一部のチェック項目を挙げてみました。

前述しましたように社会鍼灸学研究会が行った調査では6割が予防的治療を行っているとのことですから、総会案内に同封しました日鍼会の「免疫向上リーフレット」を配布して具体的に説明され、自身はもちろんのこと、患者の皆さんにも再確認いただくよう啓発して有効活用していただければと思います。

また、万が一自身の感染や濃厚接触者認定により、休業や院内消毒が行われたときに備えて、「感染症特約」のついた保険に加入しておくのも大事な対策かと思われます。これについては各種案内とともに郵送した2社のパンフレットを、ぜひ参考にしてください。

- 手洗いは感染対策のもっとも効果的な方法です。正しい方法で洗わないと効果が下がりますが、正しく行っていますか？
- 店舗などの入り口に設置してあるポンプ式消毒液は、ポンプを下まで押し切って十分な量を手に取って消毒していますか？
- 市販の消毒液の中には、コロナウイルス感染予防対策としては十分な効果が得られないのがありますが、商品表示をチェックしていますか？
- 以前より増えた手洗いや消毒液による「手荒れ・キズ」はリスクになります。手指のケアはきちんと行っていますか？
- 換気は感染対策のもっとも大切な方法です。窓開口や、換気扇・サーキュレータを動かすだけでなく、空気の流れを確認していますか？
- 体温計には若干の誤差があります。通院日には自宅で検温して、鍼灸院でも検温して2重にチェックしていますか？
- 運動不足で血流が悪くなり、いつもの定常な体温に達していないと免疫力の低下につながります。気づかないうちに足は冷えていませんか？
- 自粛生活で外出が少なく日光に当たる時間が短くなると体内時計のリズムに影響します。睡眠状態に影響は出ていませんか？
- 運動が免疫力アップにつながるという報告があります。1日20分程度のウォーキング、ストレッチなどは行っていますか？
- ゆっくりよく噛む食事は顎関節を動かして脳循環を良くし、心が落ち着くと言われていています。早食いになっていませんか？
- コロナ禍で外出機会が減り、リズムが変化すると、セルフチェックがおろそかになりがちです。微妙な体調の変化を見落としていませんか？
- かかりつけの鍼灸院で、日ごろのケアや免疫向上のために教えてもらったツボへ刺激をして、セルフケアをしていますか？
- 外食などの際は、手指消毒、検温、パーティションの設置してある店を選び、食事中の会話時はマスクを着けていますか？
- 一時期入手困難だったマスクも今はすぐにも買えます。外出時などにマスクのヒモが切れたときのために予備を持っていますか？
- 地震などの災害時のために水や食料の備えていると思いますが、コロナ禍で品薄になった衛生用品の備えは十分ですか？